

いわちゃん ポスト

岩井やすのりの県政かわら版

千葉県議会議員



1970年(昭和45年)生まれ 県立君津高卒
専修大卒、早稲田大大学院 政治学研究科修了

事務所連絡先 Fax: **0476-36-7802**

HP: <http://www.iwai-y.jp> メール: mail@iwai-y.jp

印旛郡栄町安食台 2-26-23 (栄町役場前大山ビル 2F)



blog



facebook

緊急
対談

市長×県議 印西市政の未来を展望する



印西市長

いたくら正直



千葉県議会議員

岩井やすのり



板倉正直・印西市長とは、地元選出の県議会議員として交流を重ねてきた。これまでの議論を交わ

してきたところだが、今回は、市の現状と行政課題への取組みについて、その考えを明らかにする。

●印西市の評価「県内4位」ちばぎん総研調べ

岩井 ちばぎん総研による県内市町村の調査結果を拝見しました。印西市の総合評価は、浦安市、成田市、流山市に次いで4位と高位にありますね。

	総合 評価	全体	子育て 教育	医療	福祉	都市 基盤	住環境	就業	観光	安全 安心	環境 文化	
浦安市	62.8	定性 65.4	62.5	68.2	63.7	68.9	69.6	70.1	70.4	73.0	61.2	46.4
定量 60.3		53.9	74.6	51.1	58.4	63.4	54.1	62.8	83.2	54.3	47.4	
成田市	58.9	定性 64.6	59.6	64.5	65.2	59.6	60.3	59.3	70.2	72.2	60.6	74.0
定量 53.2		54.3	49.3	51.8	58.6	51.2	50.9	62.1	65.1	40.5	48.4	
白井市	50.4	定性 50.2	47.7	44.9	61.4	53.1	56.7	51.8	47.7	34.8	61.3	42.8
定量 50.5		49.5	52.3	45.2	56.4	56.9	43.7	52.8	44.6	55.0	48.4	
佐倉市	52.2	定性 54.3	52.3	56.5	54.2	53.5	59.6	57.6	50.3	47.5	54.8	56.7
定量 50.2		47.6	51.9	51.6	51.2	58.4	47.5	43.9	44.7	56.8	48.4	
流山市	58.6	定性 62.8	73.4	65.0	60.4	62.7	63.6	66.9	63.5	54.4	66.7	51.8
定量 54.4		65.9	57.5	45.7	54.2	62.0	61.2	50.1	44.1	55.5	47.4	
印西市	57.0	定性 61.1	65.5	66.0	57.4	58.8	64.6	65.6	59.6	49.9	71.1	52.4
定量 53.0		53.6	49.8	46.3	58.0	53.8	61.2	58.8	44.8	54.0	49.4	

(株)ちばぎん総合研究所「数値でみる千葉県市町村の地方創生」(2022年)より

板倉 はい、本市は、実際の統計データである「定量」より、満足度指数とも言える「定性」が高いのが特徴です。これは、市民に好イメージを持たれていることを意味しているんです。

岩井 同報告書は印西市について、「他の自治体とは違う特長を有し、それを全面に打ち出したまちづくりを行った結果」と評価しています。

板倉 市のイメージアップは、様々な面で地域活性化に繋がる点で引き続き重要です。現状に甘んじず、不断の取組みを行っていきます。

●9月より市内小中学校給食費 完全無償化

岩井 さて、この9月より、給食費が完全無償化となるそうですね。

板倉 子育て世帯の負担軽減となることはもちろん、学校給食法により定められていた、食材購入費の上限

額が、事実上、撤廃されることも大きなポイントです。食材価格が高騰する中、良質な食材の確保に苦勞を強いられてきましたが、これからは、「地産地消」など良質な食材が使いやすくなるというわけです。

岩井 給食費完全無償化は、人口減が続く市町村の、移住定住政策の一環として実施されてきており、年少人口割合県内トップ10の自治体では、印西市が初。子どもが多く、人口増が著しい中で、本市の取組みは、人寄せではない、純粋な子育て支援策である点でも注目されています。

紙面の都合により一部を抜粋して掲載。全文は、6/30朝刊折込のいわちゃんポスト夏号をご覧ください。

「給食費完全無償化」実施団体

人口	市町村名
10万人以上	市川市、浦安市 印西市 (R6年9月～)
10万人未満	いすみ市、勝浦市、神崎町 多古町、東庄町、九十九里町 芝山町、横芝光町、長柄町 長南町、大多喜町、鋸南町

千葉県内のみ/令和6年4月時点

佐倉・八幡台団地交差点 渋滞対策に信号サイクル見直し



●コストかからない渋滞対策 各地での活用を

印西市から佐倉市臼井方面への抜ける県道千葉臼井印西線。佐倉市臼井田にある八幡台団地交差点は右折レーンがなく、右折車両が滞留しがちであることから、朝の通勤時間帯を中心に深刻な渋滞に見舞われてきました。同交差点に近い印西市師戸地区の住民や、通勤のため車で通過するという市民からは、「渋滞していると、1回の青信号で3～4台しか進めない」「代わりとなる道がなくてどうしようもない」などの切実な声が上がっていたのです。

渋滞状況の調査を重ねた上で、道路管理者である県土木事務所、県警本部と対応策を協議。理想となる右折レーン設置は早期対応が難しい一方、県警からは「管轄警察署で現場確認を実施したところ、朝の通勤時間帯においては右折需要が多く、渋滞の原因となっていたため、同時時間帯の右折車両側の青時間を延長しました」との回答。渋滞対策として信号サイクルの見直しに着手したとのことです。

信号サイクルの見直しは、渋滞の激しい牧の原地区でも要望し、すでに実施されているところですが、コストがかからない渋滞対策として、各地交差点でのさらなる実施を求めてまいります。



小林駅南口
ロータリー

「年内」供用開始へ

大かたの本体工事が終了したと見られる、小林駅南口駅前広場の整備事業。警察協議、バス停留場整備を経て、今年12月までの供用開始を「目指す」として、



●令和3年度に事業再開 残るはバス停整備など

平成25年度に着工したJR小林駅の整備事業。橋上駅舎や北口エスカレーターは27年に、県道（旧道）をまたぐ南口自由通路（エスカレーター、エレベーター等）は29年にそれぞれ供用開始となっています。一方、南口駅前ロータリーについては一部の用地取得に時間を要し、一時期工事がストップ。状況が動き出したのは、交渉がまとまった令和3年度のこと、4年度に駐輪場付近の道路整備、5年度よりロータリー本体工事にあたってきました。

市担当課によれば、横断歩道整備などについて警察との協議を進めると同時に、バス停留場設置などの最終盤の工事を終えた上で、年内の駅前ロータリーの供用開始を目指しているとのことです。

なお、同ロータリーから南側に進む道路は県が管理するものであり、引き続き道路拡幅事業の実施を求めてまいります。